

Q 2. なぜ尿量が減っていくのでしょうか。なぜ尿は最後には出なくなるのでしょうか。

A. 腎臓の大切な働きとしては、大きく三つあります。一つ目は質問にあるように水分を体外に排出して体内の水分量（体液量）を一定の範囲内に保つ。二つ目は体内にたまった老廃物を出す。三つ目は内分泌機能で、血圧や貧血などに関連したホルモンを分泌することです。

腎臓の働きが低下すると、この三つがそれぞれ障害されていくのですが、その原因となった疾患やほかの因子によって、これらが進行する順番がやや異なります。

例えば、①まず尿量が減り、むくみが早くから出現するタイプ ②尿量はあまり減らないが、老廃物を濾し出す能力が低下していくタイプなどがあります。

腎臓病の種類により、また心機能やナトリウムの体内貯留の程度などにより、①のタイプ、②のタイプ、①と②が並行して進行するタイプなど、様々です。しかし、最終的にはいずれにせよ過機能の低下が進行すると尿量も減っていきます。

注意が必要な点としては、一見尿が出ているように思っている場合でも十分な量ではなく、軽度のむくみやレントゲン写真を撮ると心陰影拡大や、肺うっ血、胸水貯留などが認められる場合も多くあります。

医師